隔月誌（平成30年5月発行）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

かなえるレター

5th ANNIVERSARY おかげさまで5周年

KANAERU LETTER

2018 vol.3 31号



今号の表紙「一針一針想いを込めて」

岸和田市 H・Fさまの作品【パッチワーク】

担当: 作業療法士　菅 あゆみ

訪問者を迎えるインコは色合い･明るさにこだわり、出来上がりを楽しみに作られたそうです。
甲冑は端午の節句に、子供の幸せを願い一針一針想いを込めて作られた作品です。
今は、リハビリを一歩一歩頑張っておられます。

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

〒550-0015
大阪府大阪市西区
南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室

TEL 06-6531-3500
FAX 06-6531-3510

ご利用者数（H30/4/17時点）

介護保険…	866名
医療保険…	418名
その他　…	10名
計	1,294名（社員数103名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野

〒586-0048
大阪府河内長野市
三日市町240-1
三日市グリーンハイツ103号室

TEL 0721-63-3355
FAX 0721-63-3377

ご利用者数（H30/4/17時点）

介護保険…	152名
医療保険…	38名
その他　…	2名
計	192名（社員数19名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都

〒604-8375
京都府京都市中京区
西ノ京池ノ内町19-11
御池KSビル202号室

TEL 075-803-0536
FAX 075-803-0537

ご利用者数（H30/4/17時点）

介護保険…	316名
医療保険…	65名
その他　…	0名
計	381名（社員数26名）

ご利用者からの”投稿募集”



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえるリンク　検索

— ご利用者とともに —

難病と闘う。そして、難病とともに生きる。



旦那様と
桜を見にお散歩

今回は、神経難病の一つパーキンソン病とともに歩むご利用者を紹介させていただきます

難病のご利用者と訪問リハビリ

私たちのところには、様々な疾患、様々な状態の方から訪問リハビリのご依頼があります。脳卒中などの脳血管疾患、変形性関節症などの骨関節疾患、がんに代表される終末期医療での関わり。

中でもパーキンソン病をはじめとした神経難病のリハビリ依頼は、様々な依頼の中でも比較的大きな割合を占めています。

神経難病とは治療が難しく、かつ進行性の病気です。他の多くの疾患とは違い、リハビリをすれば良くなる部分と、反面リハビリでは防ぎきれない病気の進行とが、患者さまの中に併存しています。

素敵な加村夫妻、忍び寄るパーキンソン病

今回ご紹介する加村美恵子さまは、洋裁やコーラスなど非常に多趣味・多才な女性です。いつもニコニコしながら、品のある話(から私に合わせた下世話な話まで)をしてくださいます。お話しているとあっという間に時間が過ぎてしまっているような感覚になります。ご主人も非常に朗らかな方で、笑顔の絶えない素敵なご夫婦だといつも感じています。

そんな加村さまに異変が生じたのは約15年前。つまずいたりすることが増え、いろいろな病院を渡り歩いた後に受けたパーキンソン病の診断。最初はどんな病気なのかわからない不安、そして病気のことを知るにつれ先の見えない別の不安に襲われたということです。

進行する病気。失っていくもの、残るもの。

以前からなさっていたピアノが上手く弾けなくなり、前述の洋裁やコーラスも続けるのが難しくなって諦めてしまったそんな中、ただ一つ続けておられたのが生け花でした。ご本人曰く、「生け花は頭の中のイメージを、ゆっくり時間をかけて形にしていける。だからパーキンソンでも続けられた」とおっしゃっています。

年末から原因不明の体調不良で思うように動けない状態が数ヶ月続きました。3月の作品展当日にはなんとか体調が回復し、そして見事な生け花を出品していただきました。入り口近くに置かれたそれは来場者の足を留め、目を奪っていました。加村さまご自身は都合で来ることが叶わなかったのですが、前述の様子を私からお伝えした時の、加村さまの嬉しそうな瞳が非常に印象に残っています。



第3回 想ひつなげる作品展に
出展いただいた『生け花』

▸H15	パーキンソン病発症
▸H29 1月	訪問リハビリを開始
▸H29 12月	PDリハビリデイサービス かなえるLIFEの ご利用を開始

一人の笑顔が次の笑顔を生んでいく

他人を幸せにできることや、他人の役に立てることは、生きていく自信になる。そうあらためて実感します。

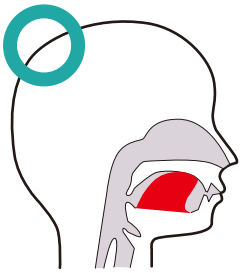
加村さまからは「次は洋裁で服を作ってみようかな」という言葉も聞かれました。

人の笑顔を生み、そのことで自分も笑顔になれる。そしてそれをサポートする私たちも元気になれる。そんなリハビリテーションを提供できる訪問看護ステーションでありたいと願っています。

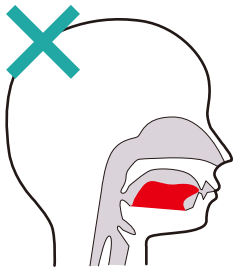
(理学療法士　中尾)

リハビリ 豆知識

低位舌とは？



正常な位置



口呼吸が癖の人の位置

皆さん、「低位舌（ていいぜつ）」という言葉をご存知でしょうか？舌は安静時、舌先が歯に触れず口の中の天井に付いている状態になります。舌の筋肉が衰えて舌が上顎に張り付かない状態のことを低位舌と言います。低位舌になると、舌を支えきれなくなり口が開いたままとなりやすく、口呼吸が優位になります。すると口の中が乾燥して雑菌が繁殖しやすくなったり、飲み込みにも影響が出て誤嚥性肺炎などを招く可能性があります。低位舌を予防するには舌の筋力を鍛える必要があります。そこで今回は簡単にできる舌の体操をご紹介します。

「ベロは宝（たから）体操」 簡単な舌位置改善体操

一音ずつしっかりと発音します。

べ ろ は た か ら



言語聴覚士
畑山　浩二

ベロは宝(たから)体操を日に20回すると舌の筋肉が鍛えられます。どうぞ一度試してみてください。

ご利用者「投稿コーナー」



作品 「陶芸」

デイサービスで陶芸の時間に取り組まれた作品です。
普段の生活では座っていると、すぐに身体が傾き眠たくなるそうですが
陶芸の時は、楽しく取り組んでおられるそうです。
可愛らしく温かみのある作品に巽さまのお人柄がよく表れていると思います。

担当: 作業療法士　松本

岸和田市
巽 道子 様
71歳



まねきねこ



さかな



ひつじ



一輪挿し



小物入れ

※あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか?
詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえる TOPIC-01

「かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野」開設

かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野
所長　楠本　泰寛

このたび平成30年4月1日をもちまして、かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野が事業所として開設の運びとなりました。

同時に、より地域の皆様が住み慣れた環境でいつまでも過ごしていただけるようにと、24時間対応の事業所として出発いたします。

開設に際しては、地域の皆様方の多大なるご助力をいただいたこと、職員一同感謝の念に堪えません。

より質の良いサービスの提供を目指し研鑽してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



所長
楠本　泰寛

かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野
管理者　中山　マキ子

平成30年4月1日から「かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野」の事業所名で24時間対応体制でスタートしました。

スタッフ一同　地域の皆様が、より安心してご自宅での療養生活を継続していただけるように医療機関、ケアマネジャー、介護関係等他職種と連携を図りサポートさせていただく所存でございます。

これからもよろしくお願い申し上げます。



管理者
中山　マキ子

平成30年4月1日付で事業所化。それに伴いそれぞれ名称を変更いたします。

『かなえるリハビリ訪問看護ステーション サテライト南』 ➡ **『かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野』**

『かなえるリハビリ訪問看護ステーション サテライト金剛』 ➡ **『かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野 サテライト富田林』**

かなえる TOPIC-02

「想ひつながる作品展 ～2018～」

かなえるリハビリ訪問看護ステーション
サテライト泉州　作業療法士　鎌田　亮平

平成30年3月18日、『かなえるリハビリ訪問看護ステーション サテライト泉州』と『PDリハビリデイサービス かなえるLIFE』合同で、「第3回 想ひつながる作品展」を開催しました。ご利用者が、日頃から趣味活動やライフワーク、またリハビリの取り組みの一つとして制作した作品を集め展示させて頂きました。当日は、天候にも恵まれ、たくさんの方にご来場頂きました。ご利用者によっては、病や障がいと向き合いながら自分らしくあるために創作活動に取り組まれています。作品を提供してくださったご利用者やその家族が喜ばれたり、創作意欲を高められたりと作品展を通じて色々な方の想いがつながりました。みなさまの想いに触れることができ、また素敵な笑顔を拝見できて、われわれ一同も大変うれしく感じるとともに、その刺激が明日への活力となっております。この作品展で、他の方の様々な作品と出会うことで次の創作への想いが拡がり、さらなるチャレンジの輪がつながっていくことを願っています。







ぽかぽかと暖かく、気持ちの良い気候になりました。この春、当ステーションで働く新しいスタッフが入職いたしました。新入職員は社会人、専門職としての様々な研修を終えて、これよりご利用者の皆さま、また地域を支える一員として務めてまいります。スタッフ一同、精進して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします！



編集者　広報課　川口 智之